平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月12日

上場会社名　株式会社 ガーラ　　上場取引所　東
コード番号　4777　URL http://www.gala.jp
代表者　（役職名）代表取締役グループCEO　（氏名）菊川 曉
問合せ先責任者　（役職名）グループ戦略部 部長　（氏名）ジョーシ ガブリエレ　TEL 03-5778-0321

四半期報告書提出予定日　平成28年8月12日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績(累計)　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	99	△24.7	△141	—	△174	—	△171	—
28年3月期第1四半期	131	△17.1	△239	—	△237	—	△232	—

(注)包括利益　29年3月期第1四半期　△147百万円　(—%)　28年3月期第1四半期　△238百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△10.83	—
28年3月期第1四半期	△15.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	1,086	736	66.2	45.34
28年3月期	1,357	883	63.4	54.31

(参考)自己資本　29年3月期第1四半期　718百万円　28年3月期　861百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—				
29年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成29年 3月期の連結業績予想（平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日）

当社及び当社グループは、スマートフォンアプリ事業における、アプリの開発やダウンロード配信が予定どおりに進まない可能性や、ダウンロード配信開始後のアプリによる課金収入の予測が極めて困難であり、また、オンラインゲーム事業における、既存タイトルのバージョンアップによる業績予測が極めて困難であることから、業績予測の公表を差し控えさせていただいております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無
新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	15,854,800 株	28年3月期	15,854,800 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	― 株	28年3月期	― 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	15,854,800 株	28年3月期1Q	15,258,518 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューの手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記載等に関するご注意）
上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、P2.「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）
四半期決算補足説明資料については、決算発表後にホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当社グループの当第１四半期連結累計期間における業績の概況は、連結売上高99,373千円（前年同四半期比24.7％減）となり、大幅な減収となりました。

これは、スマートフォンアプリ事業、オンラインゲーム事業の売上高がともに前年同四半期と比較して減少したことによります。

また、販売費及び一般管理費につきましては、マーケティング活動費用が前年同四半期と比較して大幅な減少となったため、営業損失141,764千円（前年同四半期営業損失239,246千円）、経常損失174,293千円（前年同四半期経常損失237,869千円）親会社株主に帰属する四半期純損失171,657千円（前年同親会社株主に帰属する四半期純損失232,329千円）となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

① 日本

日本セグメントでは、当社が平成28年５月から「Arcane（アーケイン）」英語版（Android）のダウンロード配信を、北米、アジア、オセアニアその他の地域において開始いたしました。また、英語版（iOS）のダウンロード配信を今夏に開始する予定です。さらに、「Arcane（アーケイン）」日本語版についても、国内子会社㈱ガーラジャパンにおいて、平成28年８月よりダウンロード配信を開始しております。当第１四半期連結累計期間において、「Arcane（アーケイン）」英語版（Android）の売上高はダウンロード配信開始直後であり、概ね順調に推移しておりますが、配信開始が平成28年５月18日と当第１四半期連結累計期間の後半であったため、前年同四半期と比較し売上高（内部取引を含む）は減少となりました。なお、内部取引を含まない外部売上高は12,078千円（44.3％）の減少となりました。

また、「Arcane（アーケイン）」英語版のダウンロード配信開始及び日本語版の事前登録開始に伴うマーケティング費用を計上しておりますが、前年同四半期と比較して大幅に減少しているため、販売費及び一般管理費が大幅に減少いたしました。

これらの結果、日本セグメントにおける売上高は22,791千円（内部取引を含む）と前年同四半期比で16,972千円（42.7％）の減少となり、セグメント損失が123,519千円（内部取引を含む。前年同四半期は194,903千円の損失）となりました。

② 韓国

韓国セグメントでは、Gala Lab Corp.のオンラインゲーム事業で主力ゲームの「Flyff Online（フリフオンライン）」及び「Rappelz（ラペルズ）」において、ユーザーへのアイテム販売減少によるロイヤリティの減収やライセンス期間終了によるライセンスフィーの減収等から大幅に売上高が減少し、スマートフォンアプリ事業では、「Flyff All Stars（フリフオールスターズ）」のロイヤリティ収入（内部取引）が減少したものの、「Arcane（アーケイン）」の運営管理業務収入（内部取引）が増加いたしました。

費用面では、売上高の減少に伴う業務委託費の減少および開発費の資産計上等により売上原価、販売費及び一般管理費ともに前年同四半期と比較し減少いたしました。

これらの結果、韓国セグメントの売上高は92,789千円（内部取引を含む）と前年同四半期比で19,647千円（17.5％）の減収となり、セグメント損失が18,907千円（内部取引を含む。前年同四半期は45,243千円の損失）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当社グループの当第１四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて147,726千円減少し、736,192千円となりました。

主な増減は、資産では前払費用が137,103千円、売掛金が74,791千円減少した一方で、ソフトウェアが18,822千円増加しました。負債では、短期借入金が101,600千円、長期前受収益が10,048千円減少いたしました。純資産では、利益剰余金が171,657千円減少した一方で、為替換算調整勘定が29,357千円増加いたしました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社及び当社グループは、スマートフォンアプリ事業における、アプリの開発やダウンロード配信が予定どおりに進まない可能性や、ダウンロード配信開始後のアプリによる課金収入の予測が極めて困難であり、また、オンラインゲーム事業における、既存タイトルのバージョンアップによる業績予想が極めて困難であることから、業績予測の公表を差し控えさせていただいております。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

当社及び連結子会社（以下、「当社グループ」という。）は、前連結会計年度において営業損失426,822千円及び親会社株主に帰属する当期純損失470,952千円を計上しております。また、当第１四半期連結累計期間においても売上高が前年同四半期に比べ24.7％減の99,373千円となり、営業損失141,764千円及び親会社株主に帰属する四半期純損失171,657千円を計上しております。現在の低迷した売上状況が継続すれば営業損失が継続し資金繰りに懸念が生じる可能性があります。当該状況等により継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループでは、当該状況を早期に解消又は改善すべく対応策に取り組んでおりますが、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。なお、継続企業の前提に関する事項及びその対応策に関しましては、「４．四半期連結財務諸表（３）四半期連結財務諸表に関する注記（継続企業の前提に関する注記）」に記載しております。

また、当社グループは、平成28年３月期末において平成23年４月１日以降開始する事業年度について５期連続で営業利益のマイナス、４期連続で営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスとなったことから、有価証券上場規程第604条の２第１項第２号に定める上場廃止基準に係る猶予期間に入りました。営業利益及び営業活動によるキャッシュ・フローがいずれもマイナスに留まった場合には、当社株式は、JASDAQ市場の上場廃止基準に抵触し、上場廃止となり、ひいては当社グループの事業に支障を来たし、業績および財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成28年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成28年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	405,764	357,841
売掛金	126,915	52,124
前渡金	36,453	33,128
前払費用	582,418	445,315
その他	18,906	3,200
貸倒引当金	△65	△149
流動資産合計	1,170,393	891,461
固定資産		
有形固定資産	1,558	1,627
無形固定資産		
ソフトウエア	27,628	46,450
権利金	36,054	34,051
その他	5,790	5,259
無形固定資産合計	69,473	85,760
投資その他の資産		
投資有価証券	375	402
長期貸付金	96,185	87,798
破産更生債権等	23,062	23,062
敷金及び保証金	5,408	5,392
その他	11,673	11,165
貸倒引当金	△20,303	△20,303
投資その他の資産合計	116,402	107,518
固定資産合計	187,435	194,906
資産合計	1,357,828	1,086,368
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,759	2,759
短期借入金	137,200	35,600
未払金	13,234	18,312
未払費用	52,973	45,940
前受金	26,922	24,607
前受収益	20,095	19,268
未払法人税等	1,240	188
その他	790	1,778
流動負債合計	255,215	148,454
固定負債		
長期前受収益	82,898	72,849
繰延税金負債	37	46
退職給付に係る負債	87,686	84,939
長期預り保証金	48,072	43,885
固定負債合計	218,694	201,720
負債合計	473,909	350,175

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成28年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成28年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,101,527	3,101,527
資本剰余金	1,657,072	1,657,072
利益剰余金	△3,408,970	△3,580,627
株主資本合計	1,349,629	1,177,971
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	86	105
為替換算調整勘定	△488,598	△459,240
その他の包括利益累計額合計	△488,511	△459,135
新株予約権	8,288	8,288
非支配株主持分	14,513	9,068
純資産合計	883,919	736,192
負債純資産合計	1,357,828	1,086,368

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成28年４月１日 至　平成28年６月30日）
売上高	131,885	99,373
売上原価	35,099	25,738
売上総利益	96,785	73,635
販売費及び一般管理費	336,032	215,399
営業損失（△）	△239,246	△141,764
営業外収益		
受取利息	551	780
為替差益	1,134	―
その他	134	21
営業外収益合計	1,820	801
営業外費用		
支払利息	443	1,493
為替差損	―	31,832
その他	―	4
営業外費用合計	443	33,331
経常損失（△）	△237,869	△174,293
特別利益		
新株予約権戻入益	2,912	―
契約解除益	895	―
関係会社株式売却益	725	―
その他	500	―
特別利益合計	5,033	―
税金等調整前四半期純損失（△）	△232,835	△174,293
法人税、住民税及び事業税	1,956	1,660
法人税等合計	1,956	1,660
四半期純損失（△）	△234,792	△175,954
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△2,462	△4,296
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△232,329	△171,657

（四半期連結包括利益計算書）

（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成28年４月１日 至　平成28年６月30日）
四半期純損失（△）	△234,792	△175,954
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	18
為替換算調整勘定	△3,229	28,209
その他の包括利益合計	△3,232	28,227
四半期包括利益	△238,024	△147,726
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△235,686	△142,281
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,337	△5,444

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

当社及び連結子会社（以下、「当社グループ」という。）は、前連結会計年度において営業損失426,822千円及び親会社株主に帰属する当期純損失470,952千円を計上しております。また、当第１四半期連結累計期間においても売上高が前年同四半期に比べ24.7%減の99,373千円となり、営業損失141,764千円及び親会社株主に帰属する四半期純損失171,657千円を計上しております。現在の低迷した売上状況が継続すれば営業損失が継続し資金繰りに懸念が生じる可能性があります。当該状況等により継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループは、当該状況を早期に解消又は改善すべく、以下の対応策を実施してまいります。

まず、スマートフォンアプリ事業において、グローバルライセンスを取得したゲームアプリ「Arcane（アーケイン）」の英語版、日本語版の提供及びその後の多国語展開を進め、収益化を目指します。

また、自社グループ開発のＰＣオンラインゲーム「Flyff（フリフ）」、「Rappelz（ラペルズ）」を題材としたゲームアプリの開発を進め、当該ゲームアプリの早期リリースを目指し、当該ゲームアプリの収益化を目指します。

資金繰りにつきましては、前連結会計年度に第三者割当による株式及び新株予約権を発行し、当該新株予約権の権利行使により、当面の事業資金として1,047,222千円を調達いたしました。

以上の施策を実施するとともに、今後も引続き有効と考えられる施策については、積極的に実施してまいります。

しかしながら、これらの改善策を実施してもなお、今後の売上高及び利益の回復は、組織体制の見直し、スマートフォン向けアプリの開発の進捗状況、市場投入の時期、市場での競争激化による環境の変化等に左右されることから、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、当社グループの四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

前第１四半期連結累計期間（自　平成27年４月１日　至　平成27年６月30日）

１．株主資本の著しい変動

当社は、平成27年５月11日付で、Ｏａｋキャピタル株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。また、同日付でＯａｋキャピタル株式会社に発行した新株予約権の一部が当第１四半期連結累計期間に権利行使されました。

これらの結果、当第１四半期連結累計期間において、資本金が522,188千円、資本準備金が522,188千円増加し、当第１四半期連結会計期間末において資本金が3,086,274千円、資本剰余金が1,614,733千円となっております。

当第１四半期連結累計期間（自　平成28年４月１日　至　平成28年６月30日）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成27年４月１日　至　平成27年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	日本	韓国	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	27,256	104,629	131,885	－	131,885
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	12,507	7,808	20,315	△20,315	－
計	39,763	112,437	152,201	△20,315	131,885
セグメント損失（△）	△194,903	△45,243	△240,147	900	△239,246

（注）１．セグメント損失の調整額900千円は、セグメント間取引消去900千円であります。
２．セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成28年４月１日　至　平成28年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	日本	韓国	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	15,178	84,195	99,373	－	99,373
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	7,613	8,594	16,207	△16,207	－
計	22,791	92,789	115,581	△16,207	99,373
セグメント損失（△）	△123,519	△18,907	△142,427	663	△141,764

（注）１．セグメント損失の調整額663千円は、セグメント間取引消去663千円であります。
２．セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。